

第1回蒲郡市中学校新制服準備委員会 実施報告

令和7年2月22日（土）10時～

蒲郡市民会館東会議室

1 あいさつ

校長会会長の大塚小学校 田中宏幸先生からは「たくさんの意見を出して、よい制服を作ってください」、教育長 壁谷幹朗先生からは「中学校の新たな1ページ。各学校の意見を持ち寄って、中学生が着たくなるような蒲郡市の制服をつくってください」とごあいさつをいただきました。

2 出席者自己紹介

保護者代表として、市P連会長の伊藤様より「新制服にしていこうことには賛成です。昔は男らしく女らしくが当たり前だった。今は、多様性ということが言われている。ブレザー化でそういった悩みがなくなっていくのはとても良い」、市P連代表の柴谷様からは「大切な会議。中学生のみなさんが意見を言いやすいように。現場・保護者の意見もくみ取ってほしい」とごあいさついただきました。

中学生の皆さんも、以下のように元気よく抱負を語ってくれました。

- ・蒲郡中代表 「蒲郡らしさを出した制服を考えたい」
- ・三谷中代表 「大事な会、三谷中の意見をまとめてがんばりたい」
- ・塩津中代表 「新しい制服になるのがとても楽しみ」
- ・大塚中代表 「快適で過ごしやすい制服を作りたい」
- ・形原中代表 「自分たちが身にまとうもの。自信がもてるものにしたい」
- ・西浦中代表 「責任をもって、よく聞き、よく考え望みたい」
- ・中部中代表 「よりよい制服が作れるよう意見を積極的に言いたい」

3 経緯と今後の予定について

(1) アンケート結果の概要と現在の方向性について

- ・中部中 小川校長先生よりアンケート結果の資料を用いて、中学校長会として、ブレザー化の方向性を決めたことの説明がありました。

(2) 準備委員会の基本方針

- ・「蒲郡市中学校の新制服について、それぞれの立場での意見を持ち寄り、よりよい新制服を提案する」ことが確認されました。

(3) 今後の予定

- ・新制服準備委員会で行うことの説明

- ①業者へ伝える外枠（ブレザー、スカート、スラックスのデザイン・色・素材）
- ②ブレザーのインナーについて
- ③リボンやネクタイ等の小物について

※各中学校代表のみなさんに、学校の「声」を吸い上げて、もってきてほしい（まとめる必要はない）ことが依頼されました。

※学校での意見の集約の仕方についても、例を示して説明されました。

4 次回の内容についての説明

【第2回 4月26日（土）】 ※以下の連絡がされました。

- 各中学校で集めた意見・アイデアを持ち寄り、2グループにわかれて意見交換
- 新制服の色や形について
- その他、希望すること（こんな風がいい、という声があれば聴いてくる）

5 各中学校代表からの質問

Q：（デザインなどについて）夏服も冬服も考えてもらいますか。

A：聞かれたら、どちらも考えてもらってください。

Q：登下校も制服になっていきますか。

A：その方向です。コロナ禍もあって、ほとんどの学校がジャージになってしまいましたが、あるのに着ない、というのではなく、日常的に着ていく方向で。

Q：今の中3、次の中1の意見も吸い上げますか。

A：絶対に現3年生や新1年生を入れてください、ではありません。意見を聞けるタイミングもあると思うので、そのタイミングで、学年主任や担任の先生とも相談して、みんながどうしたいかも考えて実施してください。

Q：私たちは新制服を着ることはできないと思いますが、（自分たちで考えた）新制服を見ることはできますか。

A：サンプルを見ることはできます。小物以外は、1年後には出来上がる見通しです。買えるのにはそこからもう1年ぐらいかかります。なので、令和7・8年度の新入生は今の制服を購入してもらいます。

※第1回目から積極的に質問も出て、よいスタートとなりました。次回はいよいよ具体的な意見交換になります。

＜蒲郡市中学校新制服準備委員会 事務局＞